

とあじ冊子



▲ 今年もデコイを設置しました。

◆◇◆ 2010年度 観察会のお知らせ ◆◇◆

【日時】

6月26日(土)、7月3日(土) 10:00~12:00
※7月3日の観察会は、大田区との共催で行うため、大田区報でも参加者を募集します。
※受付は開始時間の30分前から行います。

【対象】

6月26日…作業経験者や会員向け
7月3日…一般・小学校5年生以上
※中学生未満は、保護者の同伴が必要です。

【集合場所】

東京モノレール「昭和島駅」東口
森ヶ崎水再生センター職員通用門内
※東京モノレール「昭和島」駅西口にいらした方は、開始10分位前にスタッフと一緒に駅構内を横断します。
※車でのお越しはご遠慮ください。

【内容】

営巣地と森ヶ崎鼻干潟の観察
※今年は、交流会は行いません。

【参加費】

100円(保険代含)

【持ち物】

帽子、飲み物、双眼鏡・望遠鏡(お持ちの方)
※LTPの望遠鏡等がありますので、望遠鏡等をお持ちでない方もご覧になれます。

【申込方法】

Eメールまたは往復はがきに「住所」「氏名」「電話番号」「参加希望日」を記入のうえ、ご応募ください。
※電話・ファックスでの申込みは受付けておりません。

Eメール: apply@littletern.net

住所: 〒154-0003

世田谷区野沢4-21-22新田方

NPO法人 リトルターン・プロジェクト

【締切り】

・6月26日開催⇒6月18日必着
・7月3日開催⇒6月25日必着



2010年度営巣地整備報告



春の整備作業も毎年の恒例行事となってきました。コアジサシがやってくる時期に備えて水再生センターの屋上を、彼らが営巣しやすい環境にするための整備作業です。今年も多くのボランティアのみなさまにご協力をいただきました。この場を借りて御礼を申し上げます。ここ数年間は1週間しか行われなかった整備作業も、今年は多くの作業を行うために、3月20（土）・21（日）・27（土）・28（日）日の4日間かけて行うこととなりました。4日間でのべ193人の方が整備作業に参加していただきました。

この時期に毎年行うべき作業として、「草原化対策」と「捕食者対策」があります。コアジサシは草の生えない『裸地』で繁殖を行うために、コアジサシが来る前には営巣地を草の生えていない状態にしておく必要があります。また、カラスやチョウゲンボウといった捕食者がコアジサシの卵や雛を狙って営巣地にやってくるため、コアジサシが身を守るような工夫をしておく必要があります。

今年もこの二つの対策を中心に整備作業を行いました。まず、草原化対策ですが、これは人海戦術で草を一本一本抜いていくしかありません。年々雑草の生えてしまう面積が増えてきたため、今年は整備作業の4日間、毎日、草むしりを行いました。その甲斐もあって最終日までには営巣地全体が灰色に見えるくらいには草をむしることができました。



捕食者対策として重要になるのは、カラスやチョウゲンボウが近寄れないようにすることです。そのために営巣地の周囲には鳥が止まれないように、鳥除けの水糸などを張っていますが、これは風雨にさらされて切れてしまっている箇所があります。そこでこの水糸を補修する作業を20日に行いました。また、コアジサシはカラスなどを追い払う防衛行動を行いますが、多く集まるほどこの効果は高まります。毎年、コアジサシを営巣地にたくさん集めるためにデコイ（木で作ったコアジサシの模型）を設置していますが、今年も4月29日にデコイの設置を行いました。デコイの設置には、デコイ作成に携わってくれている野鳥彫刻家の内山先生や、デコイの補修に協力をしていただいた、かしわ環境ステーションの皆様と千葉県柏市立酒井根小学校の先生やエコクラブの児童にも来ていただきました。午前中にデコイの設置をしたのですが、午後にはコアジサシが営巣地の上空を飛び回る姿が見られ、今年の営巣の成功を予感させるものでした。



さらに今年は、昨年に大きな成果をあげた（[別の記事参照](#)）、営巣地の地面を白くする作業を引き続き行いました。営巣地を白くするために使ったのは計6トンもの貝殻です。貝殻は富津市水産加工業協同組合より提供していただき、整備作業の初日に鹿島建設や五洋建設の方達にご協力をしていただいて運搬してきました。その後、整備作業の最終日に、みなさまのご協力のもと営巣地に貝殻を撒きました。これで、昨年よりも貝殻によって地面が

白くなった面積が増えることとなりました。また、貝殻の密度を様々に変化させたので、コアジサシがどの程度の白さの地面を好むかが今後わかってくることと思います。

昨年に引き続き、多くのコアジサシが営巣地に来ることを祈っています。(W.K.)

昨年度の研究報告：貝殻の効果について

○貝殻の散布実験

以前からコアジサシは白い場所を好んで営巣するのではないかとわれていました。そのため、昨年度は営巣地の一部に貝殻を撒いて白くして、白い場所とそうでない場所の営巣結果を比べる実験を行いました。

実験は営巣地の砂利が撒かれている部分で行い、貝殻を撒いて白くした区画（貝殻区）と、砂利のまま黒っぽい区画（対照区）を3つずつ配置し、週3回程度、営巣数などを調べました。

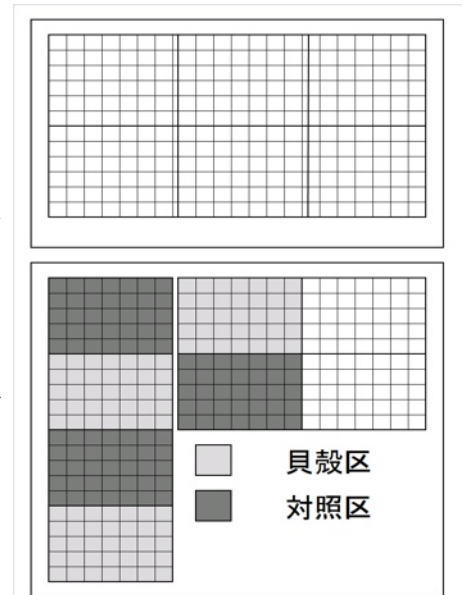


図1 営巣地の概略図

○結果

営巣は5/28に確認され、一度は失敗しかけましたが、その後順調に営巣数が増加しました。それぞれの区画の累積の営巣数を比べると、貝殻を撒いた区画では440巣、撒いていない区画では24巣となり、貝殻を撒いた区画での営巣が多い結果となりました。



図2 貝殻区（左）と対照区（右）

このことから、コアジサシは一つの営巣地の中では白い場所を選んで営巣すると言えます。

また、卵が捕食された割合を比べると貝殻区では50%、対照区では67%となりました。それぞれの区画の巣の密度などは違いますが、白い場所では卵が見つかりにくいのかもかもしれません。

どの程度の白さがコアジサシにより選択されるのか、どうして白い場所を選ぶのか、なども調べるのが今後の課題となりそうです。

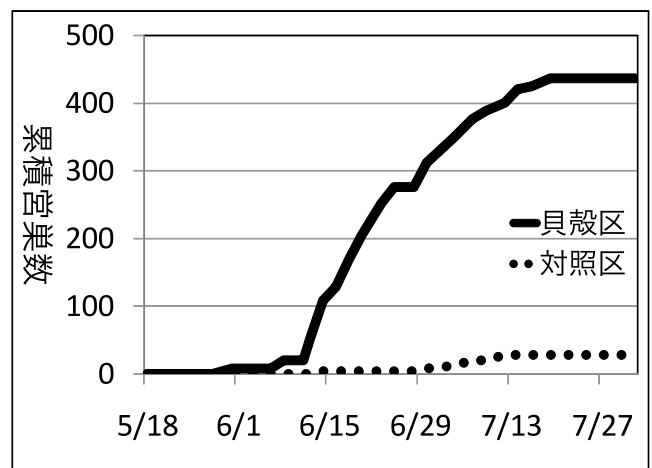


図3 累積営巣数の推移

(T.S.)

<LTP近況>

・ 営巣成果報告会&講演会を開催！

こあじ冊子の前号でもお知らせいたしました
が、12月5日（土）に区立池上会館で、2009年
度の営巣地成果報告会と講演会を行いました。
あいにくの天気でしたが、62名もの方の参加が
ありました。

第一部では、今年度の営巣地成果報告を、調査
研究部会の佐々木が発表を行い、営巣数などの
報告やコアジサシが営巣する場所の色について
の実験結果の報告がありました。

休憩を挟み、第二部は、東京港野鳥公園チーフ
レンジャーであり日本野鳥の会主席研究員の金
井 裕氏による「鳥の国から～東京港野鳥公園の
野鳥たち」と題して、野鳥公園の成り立ちや開
園当時と今現在との野鳥の種類や数の変化など
を講演いただきました。

・ 2009年度定期総会が開催されました。

2010年2月19日(金)に大田区消費生活センター
において、2009年度定期総会が開催され、付議
された各議題について、承認されました。

2010年度の事業計画及び予算については、今
回、同封いたしましたのでご覧ください。

なお、紙面の都合により詳しい内容を掲載でき
ませんが、議事録をご覧になりたい方は、ご連
絡ください。

・ エコフェスタワンダーランドin山王小学校 に出展しました。

2010年2月21日（日）に大田区の山王小学校で
開催された「エコフェスタワンダーランドin山
王小学校」に出展しました。

パネル展示、モビール作りなどを行いました。

・ 三者会議がありました。

営巣地にかかわる三団体（LTP・東京都下水道
局・大田区）の三者会議が2月24日にありまし
た。

各団体の役割分担の確認や今後の予定等を確認
しました。

・ 環境フォーラム2010でパネル展示参加

2010年3月13日に大田区民ホールアブリコの地
下1階展示場で行われた「環境フォーラム
2010」にパネル展示参加をしました。

・ 日本生態学会 保全無門で優秀賞獲得！

調査研究部会の佐々木さんが、営巣地の営巣結
果をメインとした発表を、3月15～20日の期間
行われた日本生態学会において、ポスター発表
を行い、みごと優秀賞を獲得しました。

・ デコイなどの設置作業が終了しました。

コアジサシを誘導するための、デコイとスピー
カーの設置を4月29日に行いました。

当日は、デコイの作成・修復に関わってくだ
さった「かしわ環境ステーション」の方と酒井
根小学校の方もいらして、設置を行いました。

・ 東京バードフェスティバルに出展しまし た。

例年参加している東京
バードフェスティバル
(TBF)に、今年も参加
いたしました。(5月29
日・30日)

両日も6月直前とは思
えぬ寒さでしたが、モ
ビールを作ってくれた子
供たちや、営巣地のこと
を見守ってくれる人たち
で終日にぎわいました。



・ 大森第一中学校（1年生）が営巣地見学

2010年6月7日に、森ヶ崎水再生センター西施
設の隣にある、大森第一中学校の1年生120名
が、営巣地を見学しました。

当日は、あいにくコアジサシが居ないことが残
念でした。

・ 環境月間パネル展示に出展

現在、大田区役所一階ロビーで開催されてい
る、環境月間パネル展に、LTPも出展していま
す。近くにお越しの際は、ぜひお寄りくださ
い。

◆お問合せ先

住所：〒143-0015 東京都大田区大森西5-10-22増田方 リトルターン・プロジェクト

E-mail：info@littletern.net

Tel：090-9379-6392

◇Website-URL <http://www.littletern.net/>

◇発行 特定非営利活動法人 リトルターン・プロジェクト

◇編集 水越正幸、北村亘、佐々木太毅

◇写真・イラスト 大塚豊、増田直也ほか

◎無断転載・複写複製を禁じます。

